



自治体SDGsモデル事業
「さあ、行こう！」菊池“Saiko!”プロジェクト
～きくちまるごと快適オフィス化からはじめる「菊池ファン」づくり～

熊本県

菊池市

癒しの里
菊池
KIKUCHI CITY

1. 菊池市の特性

菊池市とは



- ・ 熊本県の北東部に位置、自然あふれるまち
(人口47,888人 (2021年2月時点))
- ・ ビジネスエリアからの好アクセス
(熊本市中心部から車で約45分、熊本空港から約30分)
- ・ 基幹産業としての農業
(2018年農業産出額386.5億円 (全国14位))

自然・食・文化



菊池溪谷(名水百選)



菊池温泉(名湯百選)

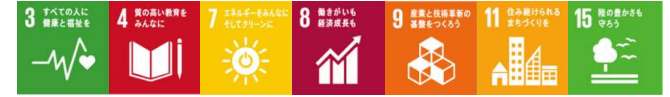


菊池基準(農産物の安全基準)
日本一の米づくり



菊池一族
(南北朝時代に九州を征した豪族)

2.モデル事業【3か年】の概要



課題

地域経済の疲弊、地域コミュニティの希薄化、環境保全に対する問題意識の低さ

取組

まち全体の
賑わい創出

地域資源の
有効活用

いつまでも住み
続けたいまち

豊かな自然環境・
景観を将来へ継承

二酸化炭素等温室効果ガス
の排出量抑制

目標

経済

経済の“再興”

社会

市民・来訪者の“最幸”

環境

里山の“彩興”

持続可能な魅力あふれる“Saiko！”のまち

2.-① 【経済】 モデル事業



里山テレワークの推進

【「いつでもどこでも」まち全体が仕事環境】
【アウトドア型ワークプレイスの整備】



アウトドア(キャンプ場 in 竜門ダム)

里山を体験できるコト消費の提供

【里山が体験できる観光や農業の推進】



イデベンチャー



農家民泊

菊池ファン（関係人口）の拡大

【菊池一族関係自治体との広域連携
(歴史街道) による関係人口の拡大】



菊池ファンクラブ

経済の“再興”

2.-② 【社会】 モデル事業



健康促進型のコト消費の提供

【カラダにキクチ！
(キク科の健康食材の徹底活用)】
【テレワーカーへの健康最高プログラム】



フットパス(健康プログラム) 菊芋(天然インスリン)

まちなかを周遊できる交通政策の推進

【e-モビリティを活用したライドシェアの推進】



電動アシスト自転車



電気自動車

地域一体で築き上げる子どもたちの成長

【(株)九州野菜育苗センターと連携した
環境教育の推進】



ホタル王国(環境教育)



緑化運動

市民・来訪者の“最幸”

2.-③ 【環境】 モデル事業



里山資源の“彩興”による 安心・安全・明るい景観づくり

- 【西部電気工業(株)など事業者との協働による植樹活動】
- 【環境に配慮した農業（菊池基準）の推進】
- 【有害鳥獣対策とジビエ活用】



地域一体となった植樹活動



環境王国菊池農業生産基準

里山共存型 カーボンニュートラルの実現に向けた取組の推進

- 【用水路を活用した小水力発電の推進】
- 【(株)ユニックスと連携した木質バイオマス発電の推進】
- 【e-モビリティをはじめ、環境に配慮した交通の推進】
- 【熊本連携中枢都市圏やゼロカーボンシティ協議会との広域連携】



小水力発電(水車)



木質バイオマス発電

里山の“彩興”

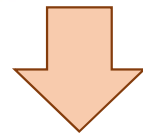
3.三側面をつなぐ統合的取組の概要

きくちまるごと
快適オフィス



【主な取組】

- ① 空き家・空き店舗等の未利用資源を活用したオフィスの整備
- ② テレワーク×健康プログラム×アウトドア×温泉×食（グルメ）といった新しい滞在型ワークプレイスの構築
- ③ e-モビリティの導入促進
- ④ 菊池“Saiko！”プロジェクトの持続的エンジンとなる「まちづくりコンソーシアム」の設立

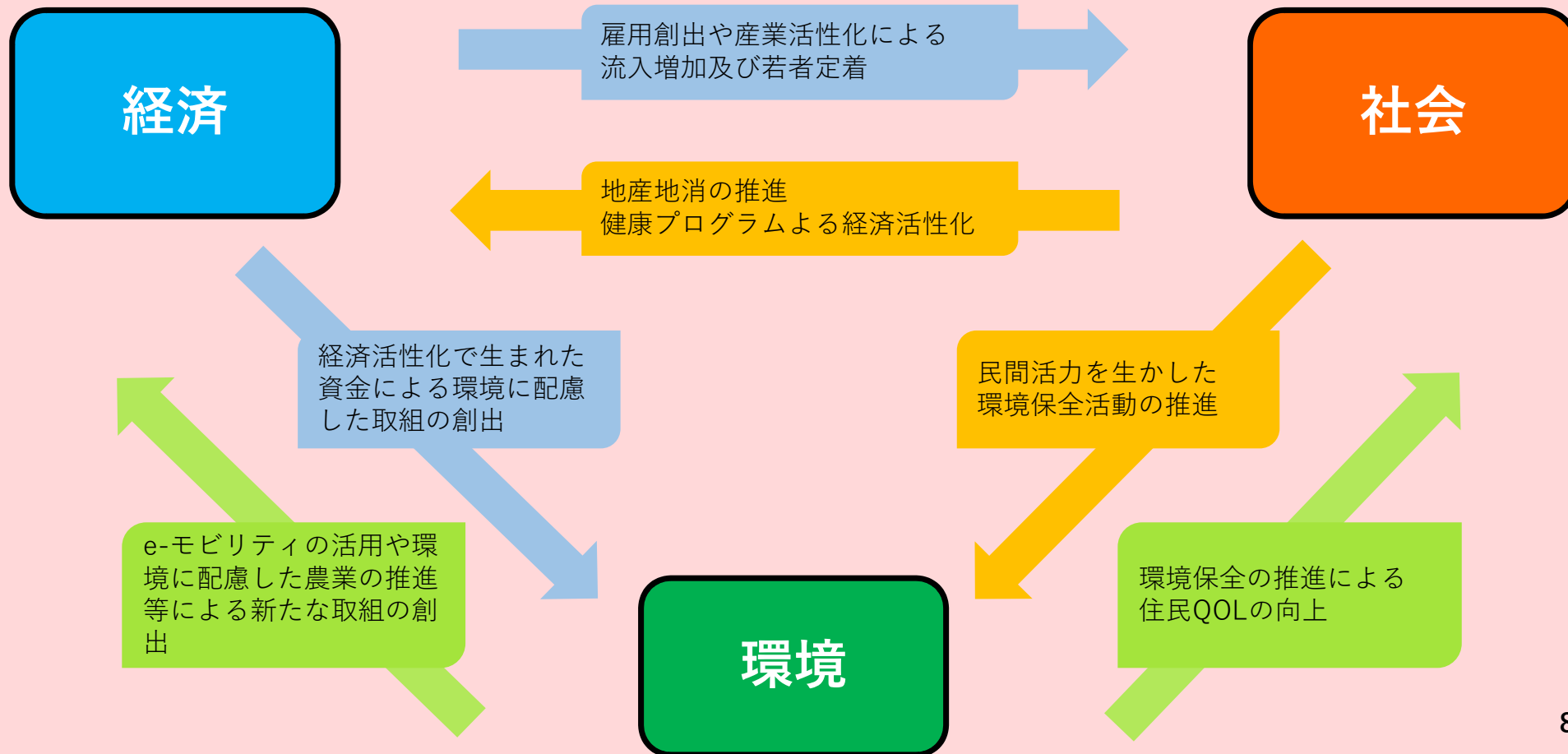


三側面への波及効果

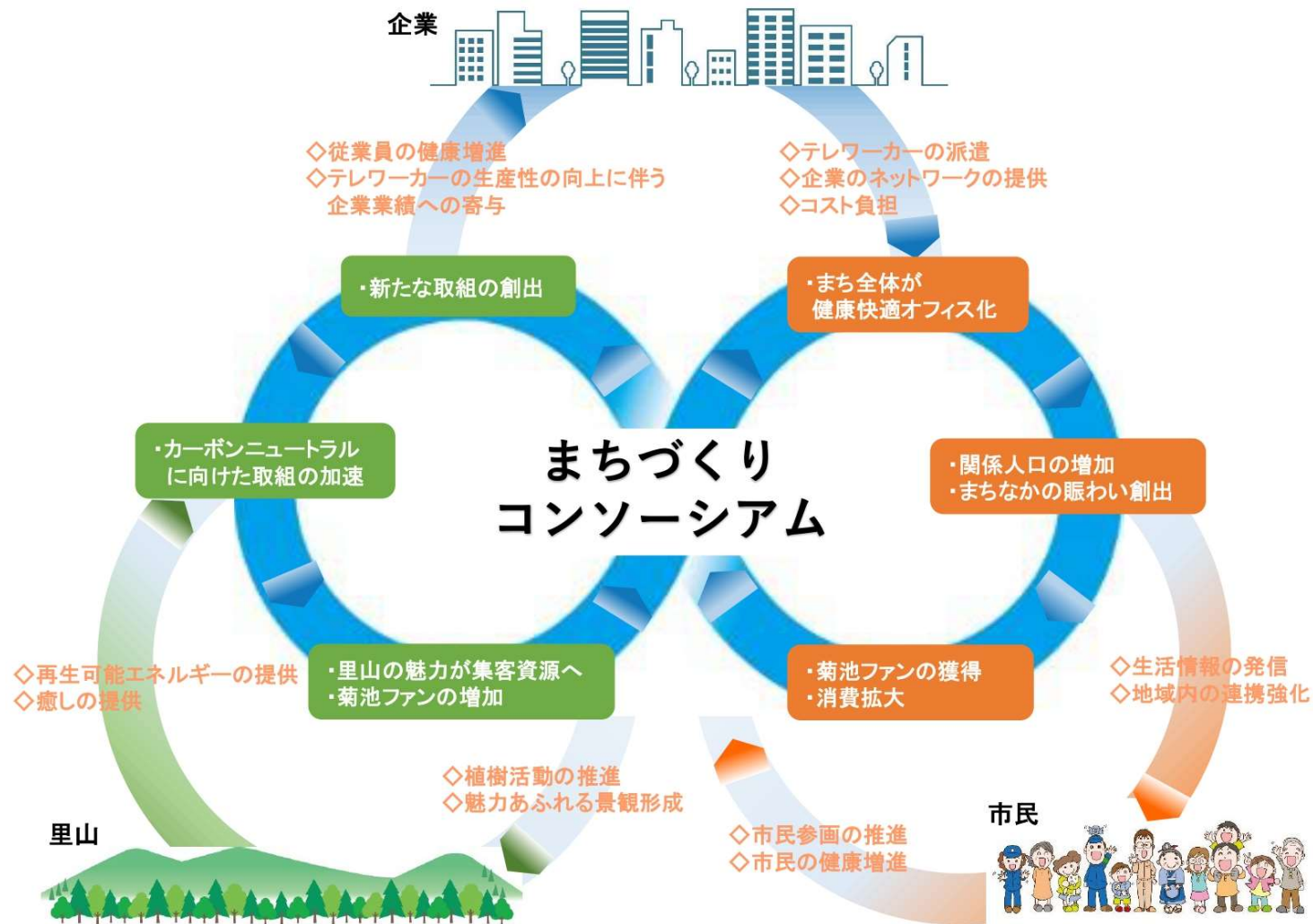
- 経済面 . . . 持続的な関係人口（菊池ファン）づくり
- 社会面 . . . 健康を軸とした高い幸福度
- 環境面 . . . 自然環境の保全

4.三側面をつなぐ統合的取組による相乗効果

きくちまるごと快適オフィス【統合的取組】



5. 自律的好循環の具体化に向けた事業の実施



2030年のあるべき姿に向けて

「里山資源を生かし、
ヒトやモノがつながり、
自立発展し続けるまち」

を目指して

合言葉は3つの“つ”！！

「つどう つながる つづける」